

かながわコミュニティカレッジ運営業務実施報告書

令和5年4月～7月分

(作成日 令和5年7月4日現在)

1. 業務の名称

かながわコミュニティカレッジ運営業務

2. 実施した業務の内容、所見等

(1) 講座企画・編成方針、講座開催計画

●講座実施団体、講師等との企画調整

- ・ 開催を計画した全31講座(33件)について、全ての講座企画実施団体又は講師と連絡を取り、実施時期や内容等の調整・確認を行いました。十分な広報期間を確保し、特定の時期に講座が重ならないよう年間開催計画を策定しています。5月後半から受講生募集を開始し、7月から順次講座を開講します。

●ボランティア活動未経験者層の参加促進講座(特別講座)の実施

- ・ ボランティア活動未経験者層を主な対象とするオンラインセミナーを下記要領で開講しました。

日時: 7月1日(土) 13:30~15:00

会場: Zoomによるオンライン開催(希望者は講義室での視聴も可)

テーマ: 人生100歳時代のライフデザイン ~これからのあなたが輝く視点と行動~

内容: ○第1部

特別講演 『これからのあなたが輝く視点と行動 50歳からのライフシフト』

講師: 関 伸夫 氏

○第2部

コミュニティカレッジの紹介

参加者: 計79名(オンライン76名、会場視聴3名)

参加者アンケート結果より(回答48人) ※現在アンケート受付中のため途中経過

【参加者属性】

- ・ 回答者の男女比はほぼ半々。年齢層は60代が最も多く19人(39.6%)、次いで70代14人(29.2%)、50代13人(27.1%)、30代・40代の方も各1名回答があった。
- ・ 回答者の32人(66.6%)がコミュニティカレッジの受講がない方であった。
- ・ ボランティア活動の経験がある人は30人(62.5%)、経験がない人は16人(33.3%)であった。
- ・ セミナーを受けて地域活動に「参加したいと思った」は18人(37.5%)、「どちらともいえない」が13人(27.1%)、「既に参加している」が16人(33.3%)であった。

【セミナーの感想(抜粋)】

- ・ 「高齢者が若者を支えていく」がこれから重要だと実感しました。ありがとうございました。
- ・ とても分かりやすい、説明していただき、行動が大切と更に感じました。
- ・ 身近で、または、地域社会で、一步、興味を持って踏み出す大切さを学びました。
- ・ ボランティア活動をサポートする講座があることを知るよい機会になりました。
- ・ 今回の講座のおかげで、新しいことに挑戦していけそうです。
- ・ Zoom操作のガイダンスは、接続テストの時間帯を設ける等わかり易かったです。
- ・ とても良い刺激をうけました。何となく申し込んだものの、郵送頂いた資料も色々頂いて見聞が広まり有意義な時間を過ごせました。視野が広がりました。ありがとうございます。

(2) 受講生募集のための広報について

4 月初旬から広報準備を進め、5 月下旬より受講生募集を開始しました。個別の広報活動は以下のとおりです。

- ・ 主催講座と連携講座の募集案内をそれぞれ作成、県内の公共施設等に配架依頼をしました。
- ・ 講座情報を下記の媒体を通じて告知しました。
県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ（県の HP 及び当団体運営 HP）、講座修了生向けメール、基金事業課・NPO 協働推進課のメールマガジン、県の Twitter、Facebook 等
- ・ 年間講座一覧とスケジュールを載せたパンフレットを作成、5 月末に県内の公共施設等へ送付しました。
- ・ 「かながわ人生 100 歳時代ネットワーク」（神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室コミュニティ活性化グループ）に参加し、かながわコミュニティカレッジの情報提供や定例意見交換会での情報共有などを行いました。

(3) 自由企画提案業務など

修了生の地域・社会活動への参加促進や活動支援に資する下記の取組みをおこなっています。

●修了生アンケートの実施

- ・ 令和 4 年度講座修了生を対象にアンケート調査を実施。6 月上旬に修了生総数 429 名（延べ修了者数 523 名）にアンケート紙を郵送し、回収・集計作業を進めています。1 講座のみ受講者（335 人）には WEB フォームからも回答できるようにしました。
- ・ アンケート調査時に「近況報告シート」を同封し、多くの修了生から活動状況や近況報告を返送いただきました。「近況報告シート」は、講義室 1 の外壁を利用したコミュニケーションボードに掲示する予定です。

●修了生及び登録者への定期的なメール配信

- ・ 過去の講座修了生（メール配信希望者）と、県のホームページ経由で申込のあったメール配信登録者に宛て、講座情報や相談窓口案内を掲載したメール情報を配信しました。（配信件数：3,527 件 ※不達除く 6 月 1 日時点）

●コミュニケーションボードの活用

- ・ 講義室 1 の外壁を利用したコミュニケーションボードに、市民活動支援施設で開催される講座案内など、受講生の今後の活動に役立つ情報を掲示しています。令和 4 年度修了生から寄せられた「近況報告」も掲示する予定です。

●パンフレットスタンド（ラック）の活用による市町の支援センター情報の提供

- ・ 県内の市民活動支援施設が定期的に発行している情報紙（28 ヶ所）を、2 つの講義室内に設置しているラックにそれぞれ配架して、受講生の活動に役立つ情報提供を行っています。

以 上